

市民に開かれた議会に

議会改革 を提案



▲水戸市議会本会議場にて（12月議会で使用したパネル）

水戸市議会に議会改革特別委員会（議長を除く全議員で構成）が設置されています。水戸市議会は「議会改革ランキング」で下位に低迷しています。日本共産党水戸市議団は10月3日、「水戸市議会の議会改革に関する提案」を提出し、速やかな実行を求めました。提案の内容は以下のとおりです。

1. 議会基本条例について

すみやかに議会基本条例を制定する。議会活動の質の向上へ毎年自己評価を行い、4年に一度は第三者や市民の評価をうける。評価結果を公表する。

2. 本会議の質問の改善

一人の持ち時間・答弁を含めて30分を改善する。概ね一人60分程度とする。又は答弁時間を含めない。もしくは第1回、第3回定例会の30分加算の通年化など十分な時間を確保する。再々質問を認める。

3. 常任委員会・特別委員会

- ① 常任委員会、特別委員会などで、傍聴者に資料を配布する。
- ② 特別委員会も常任委員会同様、事前に議題を提示する。
- ③ 特別委員会も常任委員会同様にネット中継、動画を公開する。
- ④ 常任委員会、特別委員会ともに議員に事前に資料を配布する。
- ⑤ 予算特別委員会を設置する。
- ⑥ 決算特別委員会の質問時間を増やす。質問通告以外の資料請求を認める。請求資料を事前配布し必要に応じて説明を受ける。
- ⑦ 委員会の傍聴者数を増やす。

4. 議案に対する賛否の公表

① 各議員の議案等に対する賛否の態度について公表する。

5. 請願陳情・意見書

① 請願陳情について提出者が希望するとき、又は必要があるときは提出者による説明の機会を設ける。請願陳情の賛否を本会議で討論する。
③ 意見書案の提案理由の説明および賛否に対する討論を行う。

6. 市民参加について

- ① 市民の意見を反映させるため、市民参加の政策モニターや、議会報モニター等を導入する。
- ② 委員会としての議会報告会や市民との懇談会を実施する。

7. 正副議長選挙について

① 正副議長選は議会改革など議会運営に関する所信表明や質疑を実施したうえで選挙を行う。

8. 情報発信の拡大

- ① 議案書のほか議案審査資料をインターネットで事前公開する。
- ② 議会ウェブサイト充実する。
- ③ 録画公開を迅速に行う。
- ④ SNSを活用した議会情報の発信の充実。ライン公式、X、フェイスブック、YouTubeチャンネル等の活用を検討する。
- ⑤ 議会視察の報告をインターネットで公開する。

9. 政務活動費の公開

① 政務活動費の利用状況の透明性向上のため収支報告書・会計帳簿・領収書をインターネットで公開する。

9月議会で会議規則を改善

● 育児・看護や出産を規定
多様な人材の議会への参加促進へ本会議や委員会の欠席理由に育児・看護・介護を明文化。出産時に産前6週間・産後8週間の欠席を届け出る規定ができました。
● 請願・陳情の押印が必要なくなりました。

くらし支える物価対策を 東海第2は廃炉に

日本共産党水戸市議団は来年度予算案への「要望書」を高橋靖市長に提出しました。
要望は、物価高騰の中で市民生活を支える施策や、医療・福祉の充実、再開発などの大型事業中止、東海第2原発の廃炉など計161項目です。
田尻副市長との懇談で、日本共産党水戸市議団は、コロナ禍に続く物価高で、市民の暮らしは大きな危機に直面しているとして、▽物価・原材料高騰対策▽生活困窮者支援▽小学校給食費完全無料化▽医療・介護の負担軽減▽医療・保健所体制の拡充▽障がい者福祉充実▽動物愛護支援▽交通政策充実▽防災・原子力対策 など、国に求める対策と、市独自の支援策を求めました。



日本共産党水戸市議団

水戸市に予算要望書

161項目を提出

水戸市第7次総合計画を審議しています

水戸市の今後10年間（2024年から2034年）の方針をきめる「水戸市第7次総合計画」を特別委員会で連日審議しています。日本共産党市議団3名はそれぞれ10数項目の質問を行っています。その中から一部を紹介します。

再開発に税金投入やめよ



田中まさき議員

田中議員は第7次総合計画の中に、水戸駅北口のマンション再開発のほか、泉町や南町でも4か所のマンション開発に税金を投入する計画がある問題点を批判。水戸駅北口再開発には今後32億円も税金を投入する計画です。

徒歩5分圏内に
マンション4カ所

- 水戸市はさらに4カ所：
①泉町2丁目・中央ビル
②泉町1丁目・広小路
③南町3丁目・旧ユニー跡
④南町・旧プリンスビル
においてもマンション・テナ

ントなど同じような開発に補助する計画です。

田中議員は「①から④まで徒歩5分、わずか350m。こんな至近距離に4カ所も市が本気で税金投入するのか。民間マンション建設ラッシュのなかゼネコンやマンション業者を支援する必要はない。他の事業を圧迫する。選択と集中が間違っており、中止すべき」と主張しました。

いきいき交流センター充実を



土田きよみ議員

土田議員は高齢者が利用する「いきいき交流センター」について質問。「老朽化が進んでいるところ、動線や使い勝手が不便なところの改善をもとめる声を多く聞いている。今後の維持管理、補修や改修の計画を具体化してほ

しい。また、講座や教室の充実等も含め、積極的に活用されるセンターとしていくよう、引き続き利用者の声を聞きながら充実してもらいたい」と主張しました。



バス路線の維持へ市の対策を

土田議員は高齢者など交通弱者のくらしの足の確保が重要であり、公共交通について「路線バスの減便や路線廃止が相次ぎ、ますます利用しにくくなっている。バス路線再編など、市がさらなる支援を求める」と主張しました。

産後ケアで母と子を守る



中庭由美子議員

中庭議員は助産師25年間の経験をもとに、産後ケアの充実を求めて質問しました。「出産後、多くの女性がマタニティブルー、産後うつになる。育児不安や不眠など、体のケアだけでなく心のケアも大切」と主張。水戸市の現状を質問しました。

病院の空きなし 通所・自宅訪問

中庭議員は「私が働いていた病院は年間800人、赤ちゃんが生まれるが産後ケアは月に1人受け入れられるかどうか。産後ケアを受け入れる病室の空きがない。病院のほかに通所のデ



イサービス、自宅訪問の3種類ある。訪問支援事業は、ヘルパーが家庭でケアを提供することで家庭環境が確認でき、産後うつの早期発見や虐待のハイリスクの把握にもつながる。すべての家族が安心して子どもを産み育てるためにさらなる充実を」と求めました。

3月議会・議員提案で条例制定へ 議員によるハラスメント根絶条例

水戸市議会の議会改革特別委員会で、議員によるハラスメントを根絶するための条例制定を検討してきました。条例案の修正を重ね2月5日の委員会で合意し、3月議会に議員提案で提出される見通しとなりました。主な内容は次のとおりです。

人格尊重と信頼

第1条「目的」で「議員が相互に人格を尊重し信頼しあい」「議員によるハラスメントを防止」し「議会からハラスメントを根絶」し「市民に信頼される議会を実現する」。

第4条「議長の責務」で、議員によるハラスメントの相談・申し立てがあった場合の取り扱いを定めます。

相談・調査 専門家の関与

②相談者が希望・議長が必要と認めた場合は専門家による精査。③相当の理由を認めるときは代表者会議で事実関係を調査（相談者もしくは議員が希望した場合、代表者会議の過半数が希望した場合は、専門家2人以上を出席させ意見を求める）などと規定します。

高い倫理意識

第3条「議員の責務」として、「高い倫理意識」「ハラスメント行為を疑われたときは誠実な態度で事実を明らかにする」「ハラスメント行為を認めるときはその議員に厳に慎むべき旨を指摘し解決に努めなければならない」としています。

指導・注意 議員の氏名公表

調査の結果、ハラスメントに当たる行為が確認されたときは、議長が代表者会議の調査結果を尊重し「当該議員に対する指導又は注意、当該議員の氏名の公表その他の必要な措置を講じるものとする。」となっています。



日本共産党水戸市議団は、市民の代表として信頼されるよう不断の努力をします。